



めざすのは「こどもまんなか社会」を支えるスペシャリスト。

人間科学部  
人間科学科  
FACULTY OF HUMAN LIFE SCIENCES

東京都市大学  
TOKYO CITY UNIVERSITY

2027年4月再始動。

※本パンフレットの内容は2026年4月時点での予定であり、今後変更する可能性があります。

## FACULTY OF HUMAN LIFE SCIENCES

2027年4月再始動。

※本パンフレットの内容は2026年4月時点での予定であり、今後変更する可能性があります。



人を知り、社会を支える。

人間科学



共生社会

# こどもをまんやかに、 未来をつくる学び。

少子化や女性の社会参加、孤立する子育て家庭など。子どもを取り巻く社会課題は、これまでにない複雑化しています。子どもの声に耳をかたむけ、子どもの権利について考え、子どもの生活を守り、子どもの育ちゆく環境を革新的に創造・デザインしていくために、教育・福祉・心理・保健医療・情報科学の5つの領域を総合的に学習。高度な知識と実践力を身につけ、子ども、家庭、社会、テクノロジーと手を携えて「子どもの最善の利益」を中心とした共生社会を構想・実現していくことのできる専門職(スペシャリスト)を育成します。

人の発達と  
心を理解する  
心理のチカラ

心理学系

生涯発達の視点から、多様な支援の  
あり方を学び深めます。

人の成長を支える  
教育・保育のチカラ

教育学系

多様な教育・学習のニーズに  
応える高い実践力を養います。

すべての人の  
幸福を考える  
福祉のチカラ

福祉学系

共生社会を支える、福祉の  
知識と実践力を培います。

人間科学部の  
カリキュラムが育成する  
5つのチカラ

現場を支え変革する  
ICTとデータのチカラ

情報科学系

ICTやデータサイエンスを  
教育や保育の現場で活かす力を磨きます。

人の健康と  
命をまもるチカラ

保健医療系

ケアを必要とする人々の健康と  
生活を支える力を育みます。





# 人間科学部の カリキュラム

※本パンフレットの内容は2026年4月時点での予定であり、今後変更する可能性があります。

## 教育学系

「教育とは何か」という本質から、保育・教育の実践方法まで幅広く学びます。貧困・いじめ・格差など社会課題も視野に入れながら、幼稚園での教育実習を通して子どもと向き合い、試行錯誤する中で、現場で子どもに寄り添える確かな実践力を身につけていきます。

## 保健医療系

子ども、障害児・者、医療的ケアを必要とする人々の健康と生活を支えるため、生命や健康に関する基礎知識を学びます。栄養、保健、安全など保育現場に必要な知識を身につけながら、多職種と連携し、一人ひとりの生活に寄り添った支援の力を育みます。

## 心理学系

生涯発達の視点から、子どもから高齢者までの心理と発達を学び、一人ひとりの成長に寄り添える支援力を身につけます。発達心理学や臨床心理学など多彩な授業を通じて理論を深め、子育て支援や教育相談など、実践的な学びを通じて現場で生きる力を養います。

## 福祉学系

「子どもの最善の利益」を真ん中に、誰もが生きやすい共生社会を目指し、社会福祉や社会的養護など幅広い制度・理論を理解します。国籍や障害の有無に関わらず、誰もが共に学べる支援のあり方を学び、保育所・施設実習を通して現場での専門性を高めます。

## 情報科学系

ICTやデータサイエンスを保育・教育の現場で活かす実践力を身につけます。データサイエンスリテラシーや統計基礎などを根本から理解し、現場の課題解決にICTやデータを取り入れながら、質の高い教育・保育にどう結びつくかを自ら考え、判断する力を養います。

## 探究 I・II

5つの領域を横断しながら、人間や社会が抱える複合的な課題を総合的に探究します。SD-PBLでは1年次の少人数ゼミから始まり、3年次には全学部横断のチームを組み、他学科の学生と議論・協働しながら、専門外の視点も取り入れた課題解決の実践力を培います。

## CURRICULUM

|       | 1年次                                                                                                                 | 2年次                                                                                                                                  | 3年次                                                                                                                      | 4年次                                                                           |
|-------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------|
|       | <b>基礎能力を身につける</b><br>文献資料の探し方、インターネットによる情報の集め方、文章のまとめ方、発表のしかたなど、大学での学び方を修得するとともに専門分野の基礎を学びます。<br>自主研究に必要なスキルを総合的に磨く | <b>自分の研究テーマを絞り込む</b><br>興味や関心のあることに挑戦しながら、専門的に深く掘り下げていきたい研究テーマを絞り込みます。<br>興味・関心を見つけ、自分の研究テーマを設定する                                    | <b>研究テーマを深く掘り下げる</b><br>卒業研究の前段階として、各自の研究テーマについて、指導教員の指導やアドバイスを受けながら、文献研究、フィールド調査、アンケート調査、実験などを行います。<br>卒業研究に向けた調査や実験を行う | <b>集大成として卒業研究に取り組む</b><br>4年次はいよいよ学びの総仕上げ。卒業研究を行い、その成果を論文として発表、提出します。<br>卒業研究 |
| 心理学系  | 人間の行動と心理 / 発達心理学                                                                                                    | 子ども家庭支援の心理学 / 教育心理学 / 障害児・者の心理                                                                                                       | 心理研究法 / 子ども理解の理論と方法 / 教育相談 / 生涯発達心理学(1) / 生涯発達心理学(2)                                                                     | 臨床心理学 / 心理アセスメント                                                              |
| 教育学系  | 保育原理 / 音楽実技入門 / 音楽実技(1) / 保育内容の理解と方法(造形表現) / 保育内容の理解と方法(言語表現) / 手話 / 子どもと人間関係 / 教育学概論 / 子どもと環境 / インクルーシブ教育論         | 教育原理 / 教育社会学 / 保育内容総論 / 保育の計画と評価 / 保育内容人間関係指導法 / 保育内容言葉指導法 / 保育内容表現指導法 / 保育内容の理解と方法(音楽表現) / 造形 / 保育内容の理解と方法(身体表現) / 音楽実技(2) / 子どもと言葉 | 保育者論 / カリキュラム論 / 保育内容健康指導法 / 保育内容環境指導法 / 幼児教育方法論 / 幼稚園教育実習 / 幼稚園教育実習指導                                                   | 保育・教職実践演習(幼稚園)                                                                |
| 福祉学系  | 子ども家庭福祉                                                                                                             | 社会福祉 / 社会的養護(1) / 子ども家庭支援論 / 子育て支援演習(1) / 食農文化と子育て(1) / 食農文化と子育て(2)                                                                  | 社会的養護(2) / 子育て支援 / 保育実習(1)(保育所・施設) / 保育実習指導(1)(保育所) / 保育実習指導(1)(施設) / 子育て支援演習(2)                                         | 保育実習(2)(保育所) / 保育実習指導(2)(保育所) / 保育実習(3)(施設) / 保育実習指導(3)(施設)                   |
| 保健医療系 | 人間と健康 / 子どもの食と栄養 / 医用工学リテラシー / 乳児保育(1) / 医療的ケアの基礎 / 人体の構造と機能                                                        | 生理学(1) / 生理学(2) / 子どもの保健と健康 / 子どもの安全と健康 / 特別な配慮を必要とする子どもの理解と支援                                                                       | 乳児保育(2) / 臨床医学総論 / 基礎医学総論 / 医用機器 / 医用安全工学 / 公衆衛生学                                                                        |                                                                               |
| 情報科学系 | 情報通信技術の基礎と活用(1) / 情報通信技術の基礎と活用(2) / 情報処理入門 / 情報処理基礎 / 情報処理応用                                                        | 情報通信技術の理解と応用(1) / 情報通信技術の理解と応用(2)                                                                                                    | 教育学 / 学習科学概論                                                                                                             |                                                                               |
| 探究 I  | 人間科学入門 / SD PBL(1)                                                                                                  | SD PBL(2)                                                                                                                            | 特別研究(1) / 特別研究(2) / SD PBL(3)                                                                                            | 卒業研究(1) / 卒業研究(2) / インターンシップ(1) / インターンシップ(2)                                 |
| 探究 II | 未来を拓くイノベーション / 特別講義(1) / 特別講義(2) / 特別講義(3) / 理工学と生活                                                                 | 海外研修(1)                                                                                                                              | 海外研修(2)                                                                                                                  | 海外研修(3)                                                                       |



少人数で、現場で、本物の力を身につける

## 実践的な科目群

PICK UP  
CURRICULUM

### 心理学系

## 生涯発達心理学

誕生から老いまで、生涯を通じた心身の発達を学びます。各発達段階の特性と乗り越えるべき課題を理解し、心身がどのように変化・発達していくかを知ること、自分自身や家族・周囲との関係を振り返り、将来への見通しを持てるようになります。

### 福祉学系

## 特別な配慮を必要とする 子どもの理解と支援

発達障害や医療的ケアなど、特別な配慮を必要とする子どもの心身の特性を学びます。海外にルーツをもつ子どもやLGBTQなど、多様なニーズに応じた支援のあり方をインクルーシブ教育\*の理念に基づきながら、専門的な観点から探究していきます。

\*国籍や障害の有無・文化的背景に関わらず、すべての子どもが共に学ぶ教育

### 情報科学系

## 教育工学

教育・学習の実践とテクノロジーとの関係について学びます。どのようなデジタル技術を導入することが質の高い教育や学習の実践につながるかを考え、現場で活かす実践力を磨き、よりよい保育・教育を構想し、自ら実現できる力を身につけていきます。

### 教育学系

## 幼児教育方法論

幼児期の教育の基本「環境を通して行う教育」について学びます。子どもが周囲の環境に興味をもち、遊びや生活の中で成長するために、保育者が子どもの発達や思いを理解し、適切な環境や保育内容を考える力を、実践映像や事例をもとに身につけていきます。

### 保健医療系

## 人間と健康

日本の医療制度や生活習慣、各臓器の機能と疾患、感染症、こころの健康など、医学全般を幅広く学びます。健康に対するセルフケアの視点と健康問題への基本的な理解を深めることで、自らの人生をより豊かにするための知識と意識を育成します。

### 探究

## SD-PBL

SD-PBLとは、現実的な問題解決に向けてチームで取り組みながら、各科目で学ぶ知識やスキルを実践的に活かす学び方です。1年次の入学直後から少人数のゼミ形式でスタートし、2・3年次と順次、学修段階に対応しながら、課題解決力と総合力を養います。



## 研究室一覧 LABORATORIES

### 子どもの健康福祉学・子ども家庭福祉学研究室

泉 秀生

Shu Izumi

夜更かしや食事の欠食、少ない外遊び等、生活習慣の乱れた子どもたちに対して、家庭・親や園・保育士、企業や社会でできることは何かを考え、研究しています。

### 音楽教育学・子ども文化論研究室

岩田 遵子

Junko Iwata

音楽教育から映画・ヒットソング・伝承文化まで、「文化と子ども」をテーマに幅広く探究します。理論的な読解と文化の現場への参加を通じ、自分の「好き」を学問へ深めます。

### 造形表現・美術教育研究室

大塚 習平

Shuhei Otsuka

生活の中の疑問を造形的観点から探求します。幼稚園や保育園の子どもたちの作品を分析し、発達段階と表現の関係を研究しています。焼き物制作や全国公募展鑑賞も体験します。

### 発達臨床心理学研究室

紺野 道子

Michiko Konno

発達臨床心理学研究室では、人の心の動きを丁寧に理解しようとする臨床心理学的な視点を大切にし、自分の興味のある内容について心理学的な手法を用いて研究します。

### 身体表現研究室

高橋 うらら

Urara Takahashi

ダンスやスポーツにおける身体が放つメッセージを研究。言葉を超えた交流を読み解き、実践から理論を導き、他者を深く理解する力、豊かな表現力とは何かを探究します。

### 環境行動学研究室

松橋 圭子

Keiko Matsuhashi

子育てを支援する環境について、環境行動学・建築計画学・子ども環境学の視点から考察するのがこの研究室の特徴です。学内外、他分野の方々と共に調査研究を行っています。

### 行政福祉・社会的養護研究室

宮川 哲弥

Tetsuya Miyagawa

福祉は「心」の仕事。そこに最新技術を掛け合わせ、支援者のメンタルケアと実践力向上を目指します。経験ではなく科学で未来を守る、ワクワクする福祉を研究しませんか。

### 幼児教育学研究室

室井 真紀子

Makiko Muroi

子どもの姿を丁寧に読み取り、発達を踏まえた保育者の関わり方を探求します。理論と実践を往還しながら主体的に学び合い、子ども理解を深め保育の質向上を目指します。

### 教育人間学研究室

横山 草介

Sosuke Yokoyama

教育人間学研究室では、教育と人間という切り口から、人がどのように人生を歩み、学び、成長していくのか、という問いに質的研究と呼ばれる方法を用いて追っていきます。



豊かな人間性を育む

## 幅広い参加型プログラム

異文化理解に向けた

### 海外研修



世界の幼児教育や福祉制度を現地で見て、聞いて、感じながら学ぶ実践型プログラムです。施設訪問やホームステイなどの体験を通じて異文化に触れ、豊かな国際感覚を養います。将来、教育・福祉の現場で活躍できる国際的な視野と、異文化を理解し尊重する力を、このプログラムを通して身につけることを目指します。

子育て支援施設

### 「ぴっぴ」の授業活用



学内にある子育て支援センター「ぴっぴ」では、地域の親子と直接関わりながら子育て支援を実践的に学びます。保育園や幼稚園とは異なる場で親子の様子を見るだけでなく、関わりの体験も重視。工夫された環境の中で親子と関わりながら、理論と実践の両方を身につけていく人間科学部ならではの授業です。

### インターンシップ／海外インターンシップ

東急グループの一員である本学は、グループ企業と連携した独自のインターンシップを展開。大学での学びが仕事でどう活かされるのかを知り、将来必要な知識・スキルを身につけます。また海外企業での就業体験もあり、豊かな国際性と人間性を育みます。

STUDENT'S VOICE

学びを海外で活かし  
異文化の中で挑戦する  
積極性が身につきました



関水 維 【3年】  
神奈川県私立  
横浜富士見丘学園高等学校

フィリピンの私立学校で1か月間のインターンシップに参加し、小学生に紙芝居や折り紙などの日本文化を伝えました。英語でのコミュニケーションや異なる価値観に触れ、多くの気づきを得ました。「もっと挑戦したい」という思いが強まり、将来に向けた学びへの意欲がさらに高まっています。

### ボランティア

保育・教育・地域福祉など、人々への貢献を目的とした学生の自発的なボランティア活動を支援しています。活動を通して得た知識や経験を活かし、社会への貢献が認められた場合、活動報告書の提出をもとに評価が行われ、単位として認定されます。

STUDENT'S VOICE

現場に立つことで  
授業の学びを本質的に  
捉えられるようになりました



井桁 希 【3年】  
東京都私立国士館高等学校

高校生のときから子育て支援センターでボランティアをしています。子育て支援の重要性を授業で学んでいましたが、実際に現場に立ち、居場所づくりの大切さを肌で実感しました。様々な支援のあり方を知り、将来は児童養護施設などで子どもや家庭を支えたいという思いが強くなっています。

### 取得できる 資格

#### 保育士資格

〔84単位〕 教養：必修7単位／選択3単位  
資格：必修61単位  
選択：必修8単位／選択5単位

#### 保育所 実習

保育所や児童福祉施設の役割を学びながら、子どもの最善の利益を守ることへの理解を深めます。保育士の業務内容や専門性を把握し、保育の計画・観察・記録・評価を身につけ現場での実践力を養います。

#### 幼稚園教諭一種免許状

〔59単位〕 教養：必修8単位  
資格：必修49単位／選択2単位

#### 教育 実習

3年次に幼稚園の現場へ。指導計画の作成から保育の展開まで、大学で学んだ理論と技術を実践で試します。現場での葛藤を乗り越え、保育者としての覚悟と専門性を身につける重要な学びの場です。

#### 社会福祉主事任用資格

〔6単位〕 保育原理 / 教育学概論 / 公衆衛生学

※インタビューの内容は2026年4月時点の情報です。





学びと実践がつながる場所で  
未来の選択肢が  
広がりました

西 紗楽 [4年]  
神奈川県立元石川高等学校

— 人間科学部への進学を決めた理由を教えてください。

保育士になるのが夢で、人間科学部を選んだ決め手は、幅広い視点から保育を学べる点と、学内にある子育て支援センター「びび」の存在です。親子に寄り添う実践的な支援を学べる点に惹かれました。

— びびでの授業はどうでしたか？

保育園や幼稚園での実習では見られない親子の関わり方を実際に見たり、直接保護者のお話を聞いたことが大きな経験になりました。びびは空間づくりにもこだわっているため、どういう場所で子どもがどんな行動をするのか観察・考察できたのも勉強になりました。何より、楽しかったです！

— 人間科学部でどのような学びがありましたか？

学びと実践がすごく結びついています。幼稚園実習では、身体表現の授業で創作したダンスを実習先で子どもに教えることができました。実習先の子どもや先生も喜んでくださり、学びを現場で活かした瞬間でした。子どもに関わる仕事の奥深さを学ぶ中で、一般企業など子どもを取り巻く幅広い分野にも目が向くようになりました。大学生活の中で、将来の選択肢が大きく広がっています。



STUDENT'S VOICE

好奇心が、未来をひらく

## 私たちがここで学んだこと

— TAPへの参加を決めた理由を教えてください。

(東京都市大学オーストラリア留学プログラム)

高校生の頃から「留学したい」という気持ちがあり、TAP参加を決めました。入学後は学内で語学準備講座を受講、プライベートレッスンでは毎日1時間ネイティブ講師とマンツーマンのレッスンを重ね、1年次の2月から4ヵ月間、オーストラリアのバースの学校で学びました。

— 現地では、どのような学びがありましたか？

語学から都市計画のレポート作成まで幅広く学び、語学力を大きく向上させることができました。学生寮では数カ国の留学生と共同生活をする中で、異なる価値観を受け入れること、自分の考えを伝える大切さを実感。現地で日本紹介イベント「ジャパンフェスティバル」の運営にも携わり、「迷ったら、やってみよう!」という積極性と度胸が身につきました。

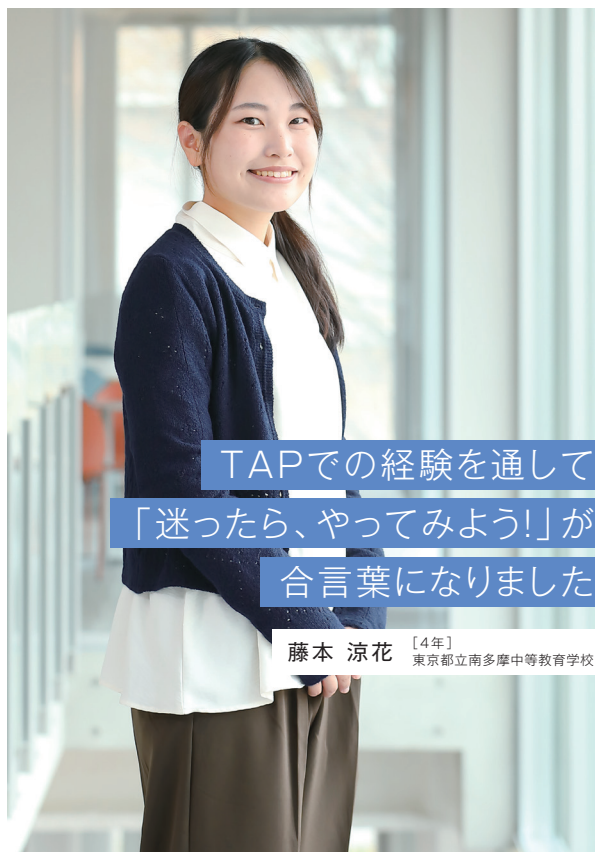
— 今後の夢や目標を教えてください。

人間科学部での授業や実習、TAPでの経験を通して、子どもに寄り添い、社会や人をサポートする仕事をしたいという思いが強くなりました。好奇心を



伸ばしてくれる授業、環境、仲間に恵まれ、将来やりたいことや自分らしいキャリアの広がりが見えてきました。

TAPの詳細は  
コチラから▶



TAPでの経験を通して  
「迷ったら、やってみよう!」が  
合言葉になりました

藤本 涼花 [4年]  
東京都立南多摩中等教育学校

※インタビューの内容は2026年4月時点の情報です。



# 学びの先に見える将来像



## 直接子どもに関わり 成長を支える仕事

保育士

幼稚園教諭

保育教諭

児童相談所職員

児童養護施設職員

児童発達支援員

児童館・学童クラブ職員



## 子どもと家庭の 福祉と健康を支える仕事

コミュニティソーシャルワーカー

子育て支援アドバイザー

ベビーシッター

レジャー・レクリエーション業

教育系シンクタンク



## 「こどもまんか」を 推進する企業活動

子ども向け商品の企画開発

教育教材の企画開発

子育て家庭向けのワークショップ・イベントデザイン

子育て家庭に向けた働き方の改革



## 行政から家庭と子どもを 支える仕事

自治体職員

行政福祉職

幼児教育センター職員

子ども家庭支援センター職員

### 進路イメージ

- 教育サービス業・学習塾
- 玩具・遊具メーカー
- 子ども向けアパレル・文具メーカー
- 福祉・医療・ヘルスケア関連企業
- 冠婚葬祭・観光・娯楽業
- 人材サービス・研修開発業
- レジャー・レクリエーション業

#### 【保育士資格 関連専門職】

- 児童自立支援施設
- 児童養護施設
- 母子生活支援施設
- 児童相談所
- 医療保育士・病棟保育士
- 行政福祉職（公務員I類）
- 社会福祉事業団

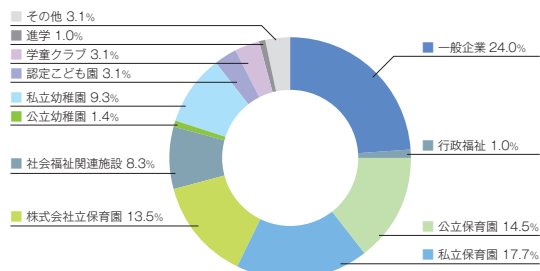
#### 【教員免許 関連専門職】

- 認定こども園 保育教諭
- 幼稚園 教諭
- 教育・教材開発業
- 保育教育系出版社
- 学校心理士
- 療育事業
- 幼児教室・教育コンサル

- 児童指導員
- 子ども家庭支援センター
- 障害児・者の支援事業
- 心理相談支援
- 保育所
- 児童発達支援事業
- 児童館・放課後児童クラブ

### 就職実績

#### 職業別就職者の割合 （2026年3月卒業）



#### 過去3年の主な就職先

※法人の種類（「株式会社」など）は省略

|        |            |                  |
|--------|------------|------------------|
| 神奈川県庁  | 渋谷区社会福祉事業団 | 三菱地所ハウスネット       |
| 大田区役所  | 東京都社会福祉事業団 | 東京海上日動コミュニケーションズ |
| 品川区役所  | 第一生命保険     | 住友生命保険           |
| 渋谷区役所  | 三井物産シーフード  | 赤ちゃん本舗           |
| 世田谷区役所 | 大東建託パートナーズ | ベネッセスタイルケア       |
| 横浜市役所  | KCJ GROUP  | 東急キッズベースキャンプ     |
|        | ボーネルンド     | LITALICO         |



学習と研究を支える充実した

# 学習環境

SETAGAYA CAMPUS



子育て支援施設「びび」[4号館3F]

キャンパス内にある子育て支援センター。2年次からの実習の場として、親子との関わりを通して学ぶことができます。



7号館

「学生たちが語り合い、学び、交流し、課題を発見・解決できる空間づくり」をコンセプトにした2022年完成の学びの拠点です。



ラーニングスペース[7号館2F]

講義の空き時間などに、学生同士でミーティングをしたり交流したりする場として幅広く活用されています。



模擬保育スペース[7号館4F]

実際の保育現場を想定し、学生同士で模擬保育などを行う教室。現場に近い環境で実践的なスキルを身につけます。



造形室[7号館3F]

絵具や粘土、模型など多様な素材や道具が揃い、保育・教育の現場で活かせる造形の技法を習得します。



音楽室[7号館3F]

ピアノや歌の実技、弾き歌いなど、保育者として必要な音楽表現の力を実践的に磨くための教室です。

## 人材の養成及び教育研究上の目的

子どもを中心に、多様な背景を有する人々が相互の差異を尊重しながら共に生きる共生社会の実現を教育研究上の基本理念として位置づけ、教育・保育、発達・心理、保健・医療、福祉に関する知識および実践的能力を基盤に、人々の多様なニーズに対して総合的かつ国際的視野をもって対応できる専門職人材の養成を目的とします。

## カリキュラムポリシー [教育課程編成方針]

深い人間理解、学際的な教養、主体的な学修態度を育成するため、教養・外国語・体育・専門基礎・専門科目を体系的に配置し、基礎から専門に至る段階的学修を提供する。

SD-PBL、特別研究、卒業研究等の少人数科目により、柔軟な思考力、批判的分析力、問題解決力、コミュニケーション力、倫理観を育成するとともに、データサイエンス的な視点・分析手法を活用する学修を促進する。

教育・保育、発達・心理、保健・医療、福祉の4領域における高度な専門性・実践力を育成するとともに、資格取得に必要な科目および参加型学修プログラムを配置する。

SD-PBL、海外研修、インターンシップ、ボランティア等、国内外の学修機会を幅広く配置し、国際性・協調性を育成する。

## 求める人物像

- ☐ 人間への興味・関心を持ち、あらゆる人を尊重する心を持つ人
- ☐ 子どもから大人まで人間について、様々な視点から総合的に学んでいく意欲のある人
- ☐ 大学で学ぶための基礎学力のある人
- ☐ 自律心があり、人と協力しながら積極的に行動できる人
- ☐ 目的に向かって困難を乗り越え、努力しようとする強い意志を持つ人

## ディプロマポリシー [学位授与指針]

- 1) 主体的かつ自律的に学修に取り組み、深い人間理解に基づく学際的教養を修得するとともに、自己研鑽を継続する態度を養う。
- 2) 現代社会が抱える複合的かつ多様な課題を捉え、公正な倫理観に基づき柔軟かつ批判的に思考するとともに、データサイエンス的視点および分析手法を適切に活用しながら、課題解決に向けて主体的に行動する能力を身につける。
- 3) 教育・保育、発達・心理、保健・医療、福祉の4領域に関する専門知識および実践的技能を統合し、あらゆる世代を対象とする社会課題の解決に総合的にアプローチできる高度な専門性および実践力を修得する。
- 4) 多様な価値観を有する人々と協働し、人類の持続可能な発展に向けて国際的視野をもって課題解決に取り組む柔軟性および協調性を修得する。

人間科学部の  
最新情報を  
手に入れよう!

入学選抜の  
最新情報はコチラ▶  
(6月情報更新予定)



人間科学部の  
紹介動画はコチラ▶  
(6月情報更新予定)



学部紹介ホーム  
ページはコチラ▶  
(6月情報更新予定)



東京都市大学  
TOKYO CITY UNIVERSITY

人間科学部 | 人間科学科

□ お問い合わせ [ 入試課 ] TEL.03-6809-7590(直通)  
〒158-8557 東京都世田谷区玉堤 1-28-1 [世田谷キャンパス]